



沖縄 高江・辺野古の闘いと連帯する

—闘いの現状を知り、私たちにできることを考える—

講師 藤本 泰成さん
(フォーラム平和・人権・環境共同代表)

日時 2017年2月25日(土)
1時開場 1時半開会 3時半閉会

会場 日本教育会館 8階 807号室
地下鉄半蔵門線・都営三田線・新宿線「神保町」下車
A1出口徒歩5分

後援 都退協(東京都退職者協議会)

在日米軍基地の74%が集中している沖縄では、騒音や凶悪犯罪が繰り返されてきました。今年4月の元海兵隊員による女性殺害事件以後も県民の命と安全を脅かす事件が続いています。

沖縄県民は、県民大会や選挙を通じて再三にわたって辺野古新基地建設反対の意思を示しました。しかし安倍政権は、民意を踏みにじて県を再び提訴したり、工事を強行したりしています。

また、高江では、オスプレイパッド建設をめぐって、全国から動員した機動隊が反対住民を暴力的に排除したり、差別発言をあげたりという暴挙が行われています。そしてマスコミは、こうした状況を十分報道しているとはいえません。

私たちは、沖縄の闘いの現状を知り、連帯するためにも、引き続き学習していきたいと思えます。



ぜひ、多数の方のご参加をお願いいたします。

<藤本 泰成さん>

- ◆北海道 洞爺湖近くで生まれる。
- ◆北海道・神奈川の高校教諭を経て、1998年より神奈川県高等学校教職員組合役員。現在、フォーラム平和・人権・環境共同代表・原水爆禁止日本国民会議事務局長。
- ◆1980年代後半から横須賀石綿じん肺訴訟を支援する会や、神奈川労働運動交流において県域のユニオン運動と連帯。フィルグラフィック解雇撤回闘争・国労闘争・フィリピンヨタ解雇撤回闘争などに取り組む。

かながわ憲法フォーラムの事務局長として憲法問題にも取り組む。